

直角三角形をかこう

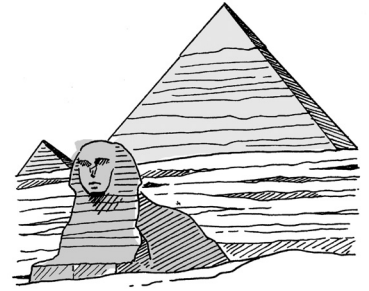
<直角を作る>

クフ王のピラミッドは、真上から見ると1辺が230mの（ほぼ正確な）正方形に見えるそうです。

そんなに昔に、どうやってきれいな図がえがけたのでしょうか？ 大きな三角定規や分度器を使っていたのでしょうか？

大昔の人たちの文明が栄えるのにいちばん大切だったのは、「食べ物の確保＝農業の発達」でした。

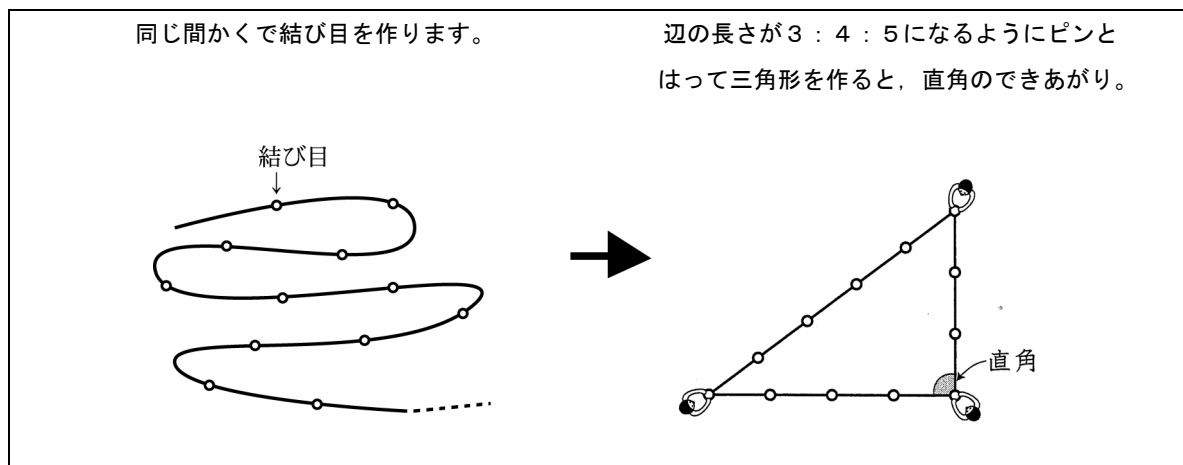
昔は今とちがって、洪水や災害を防ぐ力がなかったため、せつかく作った畑や田んぼを流されたりしました。そのたびに、もどおりに区画を作り直したのです。そのような苦労の中から、知恵をつけて、“測量”の技術を身につけていったのです。



その中でも、直角を作るというのはとても大切なことでした。分度器や三角定規はありませんでしたが、縄を使って直角を作る方法を昔の人たちは知っていたのです。

直角というと正方形や長方形を思い浮かべませんか？ 実は、直角を作るのに使われていたのは、直角三角形です。

昔の人たちは、辺の長さの比が3 : 4 : 5の三角形は直角三角形になることを知っていました。



このような仕事をする人たちは、縄張師と呼ばれていました。昔のエジプトのとても優れた測量技師ですね。



縄なら、おわたたら小さくしまえて便利です。

<いろいろな直角三角形>

辺の長さが整数の比になる直角三角形はほかにもあります。その一部を紹介しましょう（本当は、もっとたくさんあります）。

